

JFPAは  
6Aの  
実現を目指  
します!

① Adolescent 思春期保健の推進  
② Abortion 人工妊娠中絶の防止  
③ Access どこでも誰もがサービスを受けられる  
④ Advocacy 啓発・提言活動  
⑤ AIDS STI及びHIV/エイズの予防  
⑥ Aging 高齢社会への対応

# 家族と健康

健康教育情報紙

一般社団法人 日本家族計画協会  
リプロ・ヘルス推進事業本部  
健康教育推進本部  
協力: 公益財団法人予防医学事業中央会  
〒162-0843 東京都新宿区市谷田町1-10 保健会館新館  
電話03(3269)4727 FAX03(3267)2658 http://www.jfpa.or.jp  
発行人: 北村 邦夫 編集人: 櫻田 忠宏 henshu@jfpa.or.jp  
毎月1回1日発行 年賃料¥3000+税 1部¥300+税

## 今月のページ

- 多くの若者の声を代弁する団体に他
- 子どもの誤飲薬が最多に
- ストレスチェック制度とは他
- 人工妊娠中絶、妊娠婦死亡の地域格差に関する研究
- シリーズ遺伝相談(2)
- 乳幼児健康診査のポイント他
- 海外情報クリップ
- 産婦人科医による性の健康教育(2)

8面 7面 6面 4~5面 3面 2面



## トピック

児童虐待による検挙・  
被害児童数など過去最多

警察庁まとめ 2014年状況

警察庁は、2014年における児童虐待事件の検挙状況などを公表。これによると、検挙件数698件(前年比231件増)、検挙人員719人(同237人増)、被害児童数708人(同233人増)で、いずれも過去最多となつた。

検挙状況を様態別で見ると、「身体的虐待」が最も多く526件で、次いで「性的虐待」が150件で21.5%と、身体的および性的虐待がおよそ97%を占めている。以下は、「怠慢または拒否」と「心理的虐待」が、共に11件となつていています。

## 第19回 「松本賞」、久保田俊郎氏に

東京都在住・産婦人科医師 日本生殖医学会副理事長ほか歴任



久保田俊郎氏

1996年に創設された本賞は今回で19回目となるが、受賞者はこれまで31人、職種別内訳は、産婦人科医27人、公衆衛生医師2人、看護職2人となった。

第19回松本賞の贈呈式は6月17日、グランドビル市ヶ谷(東京都新宿区)で開催される。

【受賞者プロフィール】  
久保田俊郎氏は、1975年東京医科歯科大学医学部卒業。卒業後、同大学産科婦人科学教室に入局。獨協医科大学産婦人科医、土浦協同病院産婦人科医員を経て、82年4月東京医科歯科大学産科婦人科助手となり、87年に医学博士号を

取得した。87年12月より文部省在外研究員として米国バージニア大学医学部に留学し、帰國後医局長を経て、91年5月から同講師、96年8月から同助教授、2006年12月から現職に就任。現在、日本産科婦人科学会理事、日本生殖医学会副理事長、日本女性医学学会副理事長、日本生殖医学会副理事長、日本女性医学学会副理事長、日本女性心身医学会副理事長、日本生殖医学会副理事長、日本女性心身医学会副理事長として四つの小委員会を統括し、また緊急避妊ピルの新治療指針の作成にも携わり、最近の生殖医学の発展に貢献している。日本生殖医学会でも常任理事として、14年同学会発行の「生殖医学の必修知識」の制作・編集に中心

務めている。専門は生殖内分泌学、中高年女性医学領域では、日本女性医学学会の副理事長を務め、本邦性医学学会副理事長と多胎症候群(PCOS)治療法に関する小委員会委員長を務め、本邦でのPCOSの新治療指針の作成の中心的な役割を果たした。09~10年には同委員会委員長として四つの小委員会を統括し、会・女性ヘルスケア委員会・女性ヘルスケア小委員会の委員長を務め、女性アスリートの月経異常や疲労骨折などの実態を調査し、その予防のために必要な管理制度・治療指針の作成を目指し奮闘中である。

久保田氏は、1996年に創設された本賞は今回で19回目となるが、受賞者はこれまで31人、職種別内訳は、産婦人科医27人、公衆衛生医師2人、看護職2人となった。

【受賞者プロフィール】  
久保田俊郎氏は、1975年東京医科歯科大学医学部卒業。卒業後、同大学産科婦人科学教室に入局。獨協医科大学産婦人科医、土浦協同病院産婦人科医員を経て、82年4月東京医科歯科大学産科婦人科助手となり、87年に医学博士号を

取得した。87年12月より文部省在外研究員として米国バージニア大学医学部に留学し、帰國後医局長を経て、91年5月から同講師、96年8月から同助教授、2006年12月から現職に就任。現在、日本産科婦人科学会理事、日本生殖医学会副理事長、日本女性医学学会副理事長、日本女性心身医学会副理事長として四つの小委員会を統括し、また緊急避妊ピルの新治療指針の作成にも携わり、最近の生殖医学の発展に貢献している。日本生殖医学会でも常任理事として、14年同学会発行の「生殖医学の必修知識」の制作・編集に中心

務めている。専門は生殖内分泌学、中高年女性医学領域では、日本女性医学学会の副理事長を務め、本邦性医学学会副理事長と多胎症候群(PCOS)治療法に関する小委員会委員長を務め、本邦でのPCOSの新治療指針の作成の中心的な役割を果たした。09~10年には同委員会委員長として四つの小委員会を統括し、会・女性ヘルスケア委員会・女性ヘルスケア小委員会の委員長を務め、女性アスリートの月経異常や疲労骨折などの実態を調査し、その予防のために必要な管理制度・治療指針の作成を目指し奮闘中である。

久保田氏は、1996年に創設された本賞は今回で19回目となるが、受賞者はこれまで31人、職種別内訳は、産婦人科医27人、公衆衛生医師2人、看護職2人となった。

【受賞者プロフィール】  
久保田俊郎氏は、1975年東京医科歯科大学医学部卒業。卒業後、同大学産科婦人科学教室に入局。獨協医科大学産婦人科医、土浦協同病院産婦人科医員を経て、82年4月東京医科歯科大学産科婦人科助手となり、87年に医学博士号を

取得した。87年12月より文部省在外研究員として米国バージニア大学医学部に留学し、帰國後医局長を経て、91年5月から同講師、96年8月から同助教授、2006年12月から現職に就任。現在、日本産科婦人科学会理事、日本生殖医学会副理事長、日本女性医学学会副理事長として四つの小委員会を統括し、また緊急避妊ピルの新治療指針の作成にも携わり、最近の生殖医学の発展に貢献している。日本生殖医学会でも常任理事として、14年同学会発行の「生殖医学の必修知識」の制作・編集に中心

務めている。専門は生殖内分泌学、中高年女性医学領域では、日本女性医学学会の副理事長を務め、本邦性医学学会副理事長と多胎症候群(PCOS)治療法に関する小委員会委員長を務め、本邦でのPCOSの新治療指針の作成の中心的な役割を果たした。09~10年には同委員会委員長として四つの小委員会を統括し、会・女性ヘルスケア委員会・女性ヘルスケア小委員会の委員長を務め、女性アスリートの月経異常や疲労骨折などの実態を調査し、その予防のために必要な管理制度・治療指針の作成を目指し奮闘中である。

久保田氏は、1996年に創設された本賞は今回で19回目となるが、受賞者はこれまで31人、職種別内訳は、産婦人科医27人、公衆衛生医師2人、看護職2人となった。

【受賞者プロフィール】  
久保田俊郎氏は、1975年東京医科歯科大学医学部卒業。卒業後、同大学産科婦人科学教室に入局。獨協医科大学産婦人科医、土浦協同病院産婦人科医員を経て、82年4月東京医科歯科大学産科婦人科助手となり、87年に医学博士号を

取得した。87年12月より文部省在外研究員として米国バージニア大学医学部に留学し、帰國後医局長を絏て、91年5月から同講師、96年8月から同助教授、2006年12月から現職に就任。現在、日本産科婦人科学会理事、日本生殖医学会副理事長、日本女性医学学会副理事長として四つの小委員会を統括し、また緊急避妊ピルの新治療指針の作成にも携わり、最近の生殖医学の発展に貢献している。日本生殖医学会でも常任理事として、14年同学会発行の「生殖医学の必修知識」の制作・編集に中心

務めている。専門は生殖内分泌学、中高年女性医学領域では、日本女性医学学会の副理事長を務め、本邦性医学学会副理事長と多胎症候群(PCOS)治療法に関する小委員会委員長を務め、本邦でのPCOSの新治療指針の作成の中心的な役割を果たした。09~10年には同委員会委員長として四つの小委員会を統括し、会・女性ヘルスケア委員会・女性ヘルスケア小委員会の委員長を務め、女性アスリートの月経異常や疲労骨折などの実態を調査し、その予防のために必要な管理制度・治療指針の作成を目指し奮闘中である。

久保田氏は、1996年に創設された本賞は今回で19回目となるが、受賞者はこれまで31人、職種別内訳は、産婦人科医27人、公衆衛生医師2人、看護職2人となった。

【受賞者プロフィール】  
久保田俊郎氏は、1975年東京医科歯科大学医学部卒業。卒業後、同大学産科婦人科学教室に入局。獨協医科大学産婦人科医、土浦協同病院産婦人科医員を経て、82年4月東京医科歯科大学産科婦人科助手となり、87年に医学博士号を

取得した。87年12月より文部省在外研究員として米国バージニア大学医学部に留学し、帰國後医局長を絏て、91年5月から同講師、96年8月から同助教授、2006年12月から現職に就任。現在、日本産科婦人科学会理事、日本生殖医学会副理事長、日本女性医学学会副理事長として四つの小委員会を統括し、また緊急避妊ピルの新治療指針の作成にも携わり、最近の生殖医学の発展に貢献している。日本生殖医学会でも常任理事として、14年同学会発行の「生殖医学の必修知識」の制作・編集に中心

務めている。専門は生殖内分泌学、中高年女性医学領域では、日本女性医学学会の副理事長を務め、本邦性医学学会副理事長と多胎症候群(PCOS)治療法に関する小委員会委員長を務め、本邦でのPCOSの新治療指針の作成の中心的な役割を果たした。09~10年には同委員会委員長として四つの小委員会を統括し、会・女性ヘルスケア委員会・女性ヘルスケア小委員会の委員長を務め、女性アスリートの月経異常や疲労骨折などの実態を調査し、その予防のために必要な管理制度・治療指針の作成を目指し奮闘中である。

久保田氏は、1996年に創設された本賞は今回で19回目となるが、受賞者はこれまで31人、職種別内訳は、産婦人科医27人、公衆衛生医師2人、看護職2人となった。

【受賞者プロフィール】  
久保田俊郎氏は、1975年東京医科歯科大学医学部卒業。卒業後、同大学産科婦人科学教室に入局。獨協医科大学産婦人科医、土浦協同病院産婦人科医員を経て、82年4月東京医科歯科大学産科婦人科助手となり、87年に医学博士号を

取得した。87年12月より文部省在外研究員として米国バージニア大学医学部に留学し、帰國後医局長を絏て、91年5月から同講師、96年8月から同助教授、2006年12月から現職に就任。現在、日本産科婦人科学会理事、日本生殖医学会副理事長、日本女性医学学会副理事長として四つの小委員会を統括し、また緊急避妊ピルの新治療指針の作成にも携わり、最近の生殖医学の発展に貢献している。日本生殖医学会でも常任理事として、14年同学会発行の「生殖医学の必修知識」の制作・編集に中心

務めている。専門は生殖内分泌学、中高年女性医学領域では、日本女性医学学会の副理事長を務め、本邦性医学学会副理事長と多胎症候群(PCOS)治療法に関する小委員会委員長を務め、本邦でのPCOSの新治療指針の作成の中心的な役割を果たした。09~10年には同委員会委員長として四つの小委員会を統括し、会・女性ヘルスケア委員会・女性ヘルスケア小委員会の委員長を務め、女性アスリートの月経異常や疲労骨折などの実態を調査し、その予防のために必要な管理制度・治療指針の作成を目指し奮闘中である。

久保田氏は、1996年に創設された本賞は今回で19回目となるが、受賞者はこれまで31人、職種別内訳は、産婦人科医27人、公衆衛生医師2人、看護職2人となった。

【受賞者プロフィール】  
久保田俊郎氏は、1975年東京医科歯科大学医学部卒業。卒業後、同大学産科婦人科学教室に入局。獨協医科大学産婦人科医、土浦協同病院産婦人科医員を経て、82年4月東京医科歯科大学産科婦人科助手となり、87年に医学博士号を

取得した。87年12月より文部省在外研究員として米国バ



# ストレスチェック制度とは

12月1日からスタートするストレスチェック制度ってどんな制度?

厚生労働省は、全国のモニター病院および日本中毒情報センターが収集した、2013年度の家庭用品等による事故を取りまとめた「平成25年度家庭用品等による健康被害病院モニター報告」を公表。調査が始まった1979年度以降、誤飲事故の最多であつたたばこを抜き、薬が初めてトップとなつた。報告は皮膚障害、誤飲、吸入による事故についてまとめられている。

ストレスチェック制度は、定期的に労働者のストレス状況をチェックするなどにより、労働者のメンタルヘルス不調や、ストレス原因となる職場環境の改善につなげる目的で行われる。労働者数50人以上の事業場で義務的で実施されてしまふ可能性があるため、対象となる労働者全員の同意が必要となる。

ストレスチェックは事務

2013年度の子どもが63件、2歳が82件となつて死亡事例はない。年齢の内訳は、6歳11か月が最も多く14件、次いで12歳17か月が130件、18歳23か月が96件で最多となつた。

「医薬品・医薬部外品」

昨年6月25日に公布された「労働安全衛生法の一部を改正する法律」により、今年の12月1日からスタートするストレスチェック制度。厚生労働省では、これに先駆けて4月20日と5月7日(受付終了)の2日間、省内講堂にて説明会を開催。ストレスチェックの具体的な運用方法を解説している。このでは、あたためて本制度の基本的な部分をまとめた。

ストレスチェック制度は、定期的に労働者のス

トレス状況をチェックす

るなどにより、労働者の

環境の改善につなげる目

となり、当分の間50人未

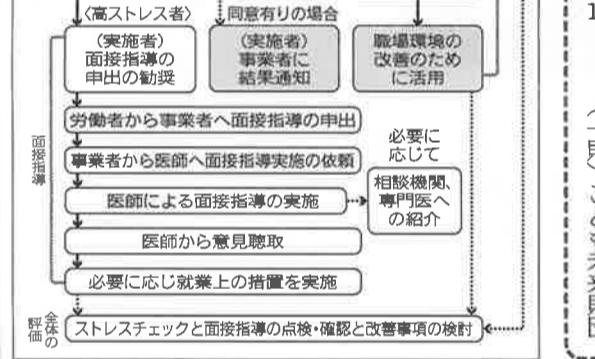
満の事業場では努力義務となつていて。

ストレスチェックは事務

者全員の同意が必要となるため、対象となる労働者全員の同意が必要となる。

厚生労働省は現在、インターネット上で、説明会資料を公開している。

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/>



## 世界には君の輝く場所がある

厚生労働省では、子どもの健やかな成長について国民全体で考えることを目的に、毎年5月5日(「こどもの日」)から1週間を「児童福祉週間」と定めている。

児童福祉の理念の普及・啓発のため、今年は北海道から沖縄まで、全国571の自治体で、各種イベントが行われる予定。最終日となる5月11日

5月5~11日 児童福祉週間

厚生労働省では、子どもの健やかな成長について国民全体で考えることを目的に、毎年5

# 中絶の地域格差

人工妊娠中絶率  
東日本 7.77  
西日本 8.58

わが国では、年間およそ100万件の出生があるが、人工妊娠中絶は約20万件で、大体出生5に対し1の頻度で行われている。私たちは、この人工妊娠中絶に関する地域格差とその対策について研究を行った。

わが国における人工妊娠中絶には、地域格差があることが知られている。また、わが国で広く行われている中絶方法である搔爬法は、吸引法や薬物による方法よりも安全性が低いことが指摘されている。このようことが、実際はどうなのかを研究した。

まずは、都道府県別の人工妊娠中絶率(表1)は、関東地方や中部地方などでも低く、北海道や東北、それから中国、四国、九州、

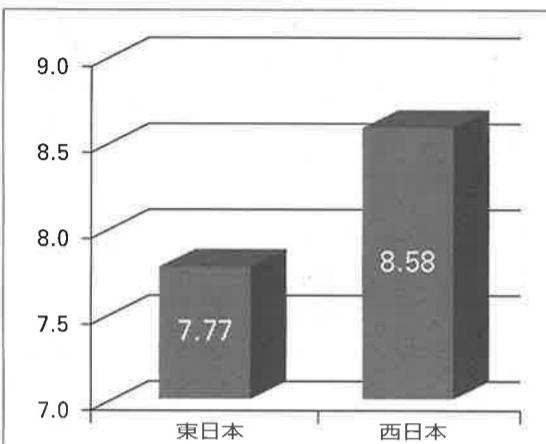


図1 東・西日本別の人工妊娠中絶率

表1 各都道府県の中絶率(妊娠可能年齢女性人口当たり、2011年度)

東北地方(北海道含む)							関東地方		
北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬
9.3	8.8	9.8	9.6	9.2	8.3	10.6	5.8	8.3	8
関東地方							中部地方		
埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野
6.3	5.3	8.5	5.9	8	7.5	7	7.7	5.2	8.2
中部地方							近畿地方		
岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山
7	7.9	6.5	9.2	6.8	7.2	8.1	6	4.9	7.6
中国地方							四国地方		
鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	
11.6	7.8	9.3	9.3	8.1	7.8	9.1	9	10.6	
九州地方(沖縄含む)									
福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄		
11.1	11	10.1	11.6	9.8	9.8	11.1	8.2		

表2 都道府県別の経口避妊薬(ピル) 使用量

東北地方(北海道含む)							関東地方		
北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬
1.14	1.71	0.49	1.48	0.76	0.83	0.89	1.84	1.69	1.40
関東地方							中部地方		
埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野
2.05	2.47	4.30	2.61	0.7	1.5	1.17	0.94	1.51	0.92
中部地方							近畿地方		
岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山
1.18	1.11	2.21	1.11	1.21	0.88	1.96	1.51	2.19	0.84
中国地方							四国地方		
鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	
0.65	0.40	0.84	1.63	1.16	1.12	0.55	0.95	0.73	
九州地方(沖縄含む)									
福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄		
1.13	0.98	0.59	0.77	0.84	0.69	0.68	1.72		

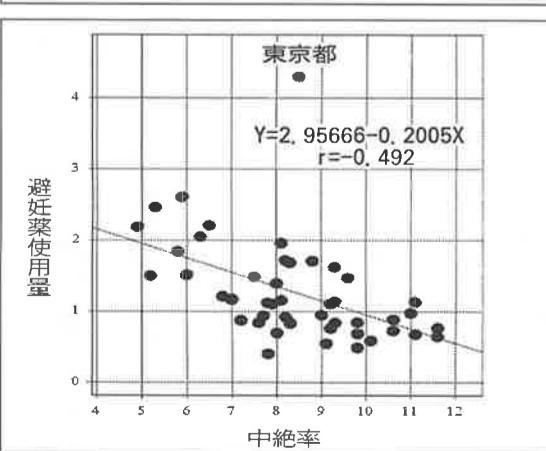


図2 都道府県別の人工妊娠中絶率と経口避妊薬使用量の関係

## 人工妊娠中絶と社会的要因の関係

厚生労働科学研究補助金によって行われた研究の発表会である、平成26年度厚生労働科学研究・成育医療克服等次世代育成基盤研究事業「子どもが健やかに育つみらいのために」が、3月11日に行われました(本会主催)。その七つある演題の中から、人工妊娠中絶などの地域差に関する発表の一部を紹介します。(編集部)



総論編②  
シリーズ

## 遺伝相談

どんな疾患も、多かれ少なかれ遺伝的要因と環境要因が関わっている。一卵性の双子では、外見が非常によく似ているだけでなく、同じような病気になり、同じような年齢まで生きることもある。その一方、例えばⅡ型糖尿病になりやすい体质を持つても、運動をし、過食を防いでいれば発症を免れる可能性はない。遺伝子発現の周辺環境、エピジェネティクスも重要である。

常染色体にのつていて遺伝子は、原則としていずれの親、すなわち由来の男女を区別することはないが、一部の遺伝子はゲノムインプリントング(ゲノム刷り込み)と

●常染色体  
優性遺伝  
—親の気持  
ちに差

## 遺伝の仕組み そのタイプと特徴

東京医信病院小児科 小野 正恵



講義風景

秋山氏による

早期発見・

栄養障害の予防、

疾患の早期発見・

早期治療が主な目

る乳幼児健診の要点を紹介。

「乳幼児健診の目的は、だんだんと変わってきていた」と、秋山氏は語る。乳幼児健康診査の始まった当初は、体力増進や栄養障害の予防、疾患の早期発見・

「母子保健指導員研修会」の第450回が3月10日、保健会館新館・多目的ホールで開催。講師には、あきやま子どもクリニック院長・秋山千枝子氏を招き、「乳幼児の発達・姿勢・運動発達等」と題して、講義が行われた。

## 乳幼児健康診査のポイント

## 第450回 母子保健指導員研修会開催

●9～10か月児健診  
積み木を持つかどうかで手先の発達を見る。手積み木、指さし、三項関係で持つのではなく、か。できない場合は母親

●3歳児健診  
視聴覚検査や診察に協力的か、「お名前は?」

●6～7ヶ月児健診  
布かけテスト(顔に布をかけて取るかどうか見

●1歳6か月児健診  
名詞を五つ言えるか、

●1歳10か月児健診  
「ママにはーい

●3歳児健診  
「バイバイ」など教え

●4歳児健診  
三項関係は、物を子ども

●5歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●6歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●7歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●8歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●9歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●10歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●11歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●12歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●13歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●14歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●15歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●16歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●17歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●18歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●19歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●20歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●21歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●22歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●23歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●24歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●25歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●26歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●27歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●28歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●29歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●30歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●31歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●32歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●33歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●34歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●35歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●36歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●37歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●38歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●39歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●40歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●41歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●42歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●43歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●44歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●45歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●46歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●47歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●48歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●49歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●50歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●51歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●52歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●53歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●54歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●55歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●56歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●57歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●58歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●59歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●60歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●61歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●62歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●63歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●64歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●65歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●66歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●67歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●68歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●69歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●70歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●71歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●72歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●73歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●74歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●75歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●76歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●77歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●78歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●79歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●80歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●81歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●82歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●83歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●84歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●85歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●86歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●87歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●88歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●89歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●90歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●91歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●92歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●93歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●94歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●95歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●96歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●97歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●98歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●99歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●100歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●101歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●102歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●103歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●104歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●105歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●106歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●107歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●108歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●109歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●110歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●111歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●112歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●113歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●114歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●115歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●116歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●117歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●118歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●119歳児健診  
渡し、「ママにはーい

●120歳児健診  
渡し、「ママにはーい

</



## 6月の母子保健指導員研修会

【トーマ】「赤ちゃんの

スキンケア・皮膚疾患」

【講師】渡辺千春(千春

宿区)

【日時】6月9日(火)13時

30分~15時30分

【会場】保健会館新館・

00円(会員以外で当

い。

参加希望の方は、必ず事

前に電話またはアカス

ス

でお問合せください)

【問合せ】本会

03(3260)4727

FAX 03(3260)21608

※年間予定については、

本会HPを

ご覧ください。

前号の4~5面では、

日本医科大学の前田美穂

教授による講演「思春期

の貧血」の一部を掲載し

ました。読者の皆さまの

貧血についての関心は高

く、さまざまご意見が

あります。極端に言え

ます。

私たちは日本も、掛け

替えるない命が使い捨て

にされた悲しい戦争の歴

史を持っています。国は

個々の存在に対して「お

もいやり」を持つ責任が

あります。

私たち自身を大切にして

いるでしょうか。地球は

人間の都合や利便性、効

率の追求の結果により、

膨大な自然破壊が繰り返

され、いまだかつて想像

できます。

私たちは奇跡の星・地

球と、奇跡の存在である

私たち自身を大切にして

いるでしょうか。地球は

人間の都合や利便性、効

率の追求の結果により、

膨大な自然破壊が繰り返

され、いまだかつて想像

できます。

私たち自身を大切にして